



岐阜北週報

7月 母子の健康月間

□ 題 字	波多野光裕	□ 会 長	波多野光裕	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	原尾 勝	2024-2025
□ 会 場	都ホテル岐阜長良川	□ 幹 事	三木 淳	No.1930
		会報委員長	大友 芳宏	24.7.10

前回の記録

第 1929 回 例会 7月3日 (水)
 慶祝行事・新会長挨拶
 創立記念日
 ガバナー補佐訪問

担当：会長・幹事

本日の予定

第 1930 回 例会 7月10日 (水)
 クラブアッセンブリー (1)
 事業計画
 定例理事会

担当：会長・幹事

次回の予定

第 1931 回 例会 7月17日 (水)
 クラブフォーラム (1)

担当：出席委員会

会長挨拶【波多野 光裕 会長】



皆様、こんにちは。本日は例会に参加いただき、ありがとうございます。本日は、桐山直泰ガバナー補佐をお迎えして、岐阜北ロータリークラブ第43期のスタートの日であります。桐山ガバナー補佐ありがとうございます。そして、岐阜北ロータリークラブ創立記念日です。

私たちのロータリークラブは、1982年(昭和57年)6月30日にチャーターメンバー28名により創立総会が行われました。7月に入り、第1期がスタートし、1982年7月14日に国際ロータリーへの加盟が承認されました。この頃の日本は、第2次「オイルショック」が終盤にかかっている時期でした。深夜のテレビ番組放送の自粛や、ガソリンスタンドの日曜祝日休業などが1983年まで行われました。あれから42年。岐阜北ロータリークラブ第4

会長挨拶 続き

3期の始まりです。

本日ボックスに第43期の年次計画書が入っています。今、お手許にあると思いますが、2024～2025年度理事、並びに役員と委員会構成の表が掲載されています。見ていただくとわかりますが、会長エレクトの欄が空欄となっています。本来なら古野さんの名前が記載されているのですが、先月19日に開催されました臨時理事会にて、病気によるやむを得ない退会が承認されました。後期高齢者なのに、ゴルフではボールを白マークから誰よりも遠くへ飛ばす若さを誇っていた古野さん。自分自身の年齢を忘れてしまっていたかのような古野さん。そんな古野さんを間近で見ていたからこそ、ゴールドティーから打っているのに、おじいちゃんと呼ばれているのに、まだ若いからやれと錯覚していた私でした。

今の私には、年には勝てないという「老いるショック」があるだけです。そんな私でも私なりに、精一杯頑張って1年間を全うする所存でございます。また、指名委員会には空欄となっている会長エレクトの欄を1日でも早く埋めていただくことをお願いいたします。そして、会員の皆様、どうか1年間ご指導の程よろしくお願ひします。後半の部で改めて就任挨拶をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

出席報告

会員数 : 31 名
 出席数 : 27 名 / 31 名
 出席率 : 87.10%
 欠席者 : 4 名 (出席免除 2 名)
 来訪者 : 岐阜 A グループ
 ガバナー補佐 桐山直泰様
 米山奨学生 ピヨ タンダーチョー様

慶祝行事

1. 会員誕生日のお祝い

7月10日 河村 尚江 会員
 7月12日 前川 俊也 会員
 7月23日 長野 鉄司 会員
 7月28日 前田 吉彦 会員

2. ご夫人誕生日のお祝い

7月 5日 松野みゆき 様
 7月20日 永瀬 慶子 様

3. 結婚記念日のお祝い

7月21日 前川 俊也 会員



親睦・交流委員会柳原 健二 委員長



乾杯 林 隆行 直前会長

慶祝行事 続き



米山奨学生ピヨ タンダーチョーさん



波多野会長よりゴルフ同好会へ助成金贈呈

会員表彰・委嘱状

- ・第42期ホームクラブ100%出席表彰
 岡田一二三 会員
 林 隆行 会員
 柳原 健二 会員



- ・前年度三役への記念品贈呈
 林 隆行 前会長 近藤 祐司 前幹事



表彰・委嘱状 続き

- ・第2630地区 委嘱状伝達
地区財務・ロータリー財団監査委員会
委員 前田 吉彦 会員
- 職業奉仕委員会 委員 湖山 浩行 会員



委員会・同好会報告事項 続き

- ・社会奉仕委員会 前田 吉彦 委員長
7月29日若松学園サマーキャンプについて。



ニコニコBOX (敬称略)

- ・波多野光裕:一年間よろしくお願ひいたします。
- ・原尾 勝:波多野執行部が船出します。よろしくお願ひします。
- ・三木 淳 山口八郎 永瀬 章 小森保敏
国井省二 岡田一二三 前田吉彦 辻 博
川崎賢二 林隆行 井戸憲一郎 近藤祐司
中野直人 湖山浩行 大島愛子 大友芳宏
前川俊也 :一年間どうぞよろしくお願ひ
します。
- ・渡辺 俊介:執行部の皆様、一年間よろしくお
願ひします。
- ・長野 鉄司:今日2回目の高齢運転免許を受け
てきました。

例会行事 担当:会長幹事

- ・岐阜Aグループガバナー補佐 桐山 直泰 様



<新三役就任挨拶>

- ・会長就任挨拶 波多野 光裕 会長



委員会・同好会報告事項

- ・会計 大島 愛子 会計
上期会費納入のお知らせ



改めましてご挨拶をさせていただきます。
本年度のRI会長テーマは、『ロータリーのマジック』です。ロータリーのマジックは、皆が一緒になって行動することで生まれるものであり、行動することで、地域社会や世界をよりよい場所にする事ができるというものです。

例会行事 続き

そして、亀井ガバナーは、『ロータリーのマジック』とは、ロータリーをより時代に即した意義あるものに進化させていくことで、『地域にインパクト』をもたらすと捉えています。慣習を見直し持続可能なよい変化を求めていくところは、かつて地区で言われた『不易流行』につながるものと思いました。2012年（平成24年）岐阜北ロータリークラブ第31期の時にロータリークラブで『不易流行』という言葉を目にしました。当時の村橋ガバナーが掲げられたテーマですが、今でも私の耳に残っています。私の子どもの結婚式には、新郎の親の挨拶でこの言葉を拝借しました。まさに不易です。

同時期に、同ガバナーから『モレガン』というゴルフ用語も教えていただきました。クラブのゴルフ同好会では、それから1年間くらい好んでこの言葉が使われましたが、今は誰も何も言いません。まさに流行です。今年度、私たちのロータリークラブで、どんなマジックが使われるのか？期待と不安でいっぱいです。

さて、話を私と岐阜北ロータリークラブとのかわりに移したいと思います。私は、この岐阜北ロータリークラブへ第22期に入会しました。会員数は47名でした。なお、会員数の最多期は、第11期の69名でした。その後、第28期に幹事となりました。当時の都ホテルは、各会場内でもタバコを吸うことができ、各テーブルには灰皿を置くことができました。第28期の会長は国井さん、副会長には、交通事故で人生を終えられた服部洋一朗さん、幹事に私でした。会員数は36名でした。そして、執行部の前席には3つの灰皿がありました。翌第29期は、会長に今、暇してる岡田忍さん、副会長に私、幹事は谷田さんでした。そして、会長エレクトには塚原進さんがなっていました。会員数は34名で、執行部の前席の灰皿は2つになっていました。この第29期中に、今回と同じ事件が発生しました。会長エレクトの塚原さんの病気によるやむを得ない退会です。そして、外出中の私の携帯電話が鳴り、こんな会話がなされました。

ミスターX：お～波多野か

私：はいそうです。どちらさまでしょうか？

ミスターX：わしや。ロータリーでわしを知らんのはモグリやぞ

例会行事 続き

私：どちらのわしさまでしょうか？

ミスターX：岡川や。おまえ、今度塚原の代わりやれ～。断れんぞ

私：はい

まさに、昭和のパワハラで不適切にもほどがある。です。そして、第30期の会長に私、副会長に長野さん、幹事は松野さんでした。会員数は32名で、期末には30名と最低となり、灰皿も1つに減っていました。そして、また事件が起きました。第30期のスタートの日の例会の時、私の父の葬儀が行われたのです。当然、私は欠席せざるをえないです。その時、私の代わりをしてくれたのが、長野さんです。ありがとうございました。今、暇している岡田忍さんに言わせると、今度は、本人やぞ～らしいですが、今ここに立っているからとりあえずは大丈夫みたいです。

なお、その後の都ホテルですが、皆さまご存じのとおり、会場内では禁煙となり、2階の角の部屋が一時的に喫煙ルームとなっていたのですが、今では外からしか入れない喫煙ルームが1階にあるだけです。そして、私はタバコを吸うことができない体になってしまいました。

最後に、私たち全員がロータリーの精神を胸に、共に手を取り合って活動することで、よりよいロータリークラブを築いていけると信じています。皆様の積極的な参加とご協力をお願い申し上げます。これからの1年間、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

・副会長就任挨拶 原尾 勝 副会長



この度、副会長を拝命しました原尾 勝です。よろしくお願い申し上げます。

例会行事 続き

本来ならここに立つのは、井戸さんの予定なんです。波多野さんからある日、連絡を戴き、井戸さんが個人的理由により副会長ができないとのことで「原尾さんやってよ！」とのこと・・・「もっと若い人がいるだろう！」と言ったのですが、井戸さんの個人的な理由をよく知っているだけに断れず、「ガバナー補佐の仕事も始まるしなあと思いつつ・・・」引き受けることにいたしました。

副会長の仕事は、会長補佐という任務ともう一つ、クラブ奉仕委員長としての役目があります。これは、クラブ運営や委員会運営がスムーズに行くようにアドバイスや委員会間調整等を行うものであります。例えば I GM で若い人が貴重な意見を言っても、リーダーが発表してそこで終わってしまう。言う方も言うだけ、聞く方も聞くだけ、執行部も自分の仕事とっていない。これでは、クラブも良くなりませんし、若い人もつまらないと思いつつ辞めてしまう。

なぜ、こうなるのか？それは、意見を吸い上げて実行するという「仕組み」がないんですね。この役割をするのがクラブ奉仕委員長である副会長だと思います。I GM のリーダーが発表したら「こう言う意見が出たので検討してください」という答申を副会長にさせていただきます。副会長は責任を持って理事会に掛け合い、理事の判断を仰ぐ。この仕組みを作りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

そして、もっと若い人を登用する。入会 3～4 年経ったら委員長になってもらい、ベテランがその下について補佐する。若い方が大いに活躍できる場を提供する。彼らが中心になってクラブを運営すれば活力のある元気なクラブになっていくと思いますし、会員増強にもつながっていくと思います。来期の会長さんには、このことを是非お願いしたいと思います。

また、地区委員についてですが、もしあれば積極的に受けたいと思います。地区に出るとロータリーに対する見方、考えが変わります。多くの人とのつながりができ、人として成長することができると思います。私がそうでしたので皆様にも是非経験していただきたいと思ひます。

最後に、来期のガバナー補佐を拝命しましたので第 2630 地区 A グループとしての活動を

例会行事 続き

してまいります。早速、この 7 月 20 日土曜日に第 1 回のガバナー補佐候補者の会議が名古屋の名鉄グランドホテルで開催されます。ガバナー補佐の仕事は、一人ではできません。皆様のお力添えがないとできませんので、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

以上、副会長就任の挨拶とさせていただきます

・幹事就任挨拶 三木 淳 幹事



次回例会のご案内

第 1931 回例会 7 月 17 日 (水)

クラブフォーラム (1)

担当：出席委員会

会報・広報 7 月担当 大友 芳宏